

# コロナ禍からいのちと暮らしを守る年金支給を求める請願

2020年 月 日

衆議院議長 様

参議院議長 様

いま、コロナ禍により国民のいのちと健康、暮らしや文化などの生活基盤が脅かされています。経済的にも深刻な消費不況と経済活動の低下による失業者の増加や倒産があいついでいます。政府も60兆円に及ぶ経済的支援にとりくんでいるものの予断を許しません。

高齢者の生活を守る年金支給額は、年金を自動的に減らすマクロ経済スライド制度や削減を繰り越すキャリアオーバー制などにより、8か年度で実質6.4%も引き下げられました。加えて、2021年度からは、物価と賃金のどちらか低い方の変動率にあわせて年金額を改定する「新改定ルール」が実施され、毎年のように減額、目減りしていくこととなります。

現在、年金を頼りに生計を維持している高齢者は4千万人います。コロナ禍のもとでの年金減額は、高齢者の生存権を脅かし、さらなる消費不況を招き、経済の回復を遅らせます。コロナ禍で冷え切った日本経済を立て直すためにも、高齢者の購買力の維持・増進が必要です。そのためにも、国民共有の財産である年金積立金を活用して年金支給に充当するとともに、コロナ禍のもとでの年金減額の諸制度を適用せず、年金支給額の改善を求めます。

## < 請 願 事 項 >

1. 2021年度年金額改定は減額にしないこと
2. 基礎年金の国の負担分＝約3.3万円をすべての高齢者に保障すること

氏 名	住 所
	都・道 府・県

\* 氏名、住所の記入欄に「同上」「〃」は不可、住所は番地までの記入をお願いします。

取扱団体 **全日本年金者組合** 東京都豊島区南大塚 1-60-20 Tel: 03-5978-2751

同

2020年7月 緊急年金署名